

2024年のトピックス

② 馬事公苑の利活用

マテリアリティ 「地域・社会との協調」

- 2023年11月、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の馬術競技の開催に伴い、休苑していたJRA馬事公苑がリニューアルオープンし、2024年には年間789,544名の来場者を記録しました。
- 馬事公苑で開催した主なイベントとして、8月には世田谷区主催の「せたがやふるさと区民まつり」を開催しました。開催に際しては準備段階から世田谷区や地域の皆様と協力し、まつり当日は2日間で295,000名(主催者発表)の方が来苑され地域のまつりをお楽しみいただきました。また、9月には「愛馬の日」を開催し、全国各地の伝統馬事芸能の披露や、馬とのふれあい、体験乗馬などのイベントを実施し、こちらも来苑された多くのお客様に馬事文化に触れていただき、馬と親しむ1日をお楽しみいただきました。
- リニューアルした馬事公苑は、日本の馬事文化・馬術競技の中心地として、年間を通じて馬術大会を開催しており、地域の皆様には『馬のいる緑豊かな都市公園』として、日頃からお子様連れのファミリーや高齢者の方が多く訪れて楽しまれています。
- JRAは、今後も地域の発展と交流の創出に貢献し、皆様から愛されるよう地域とともに歩んでいきます。

(JRA馬事公苑で開催した主なイベント)

開催時期	イベント名	概要	来苑者数
8月	せたがやふるさと区民まつり (主催:世田谷区)	8月3日～4日の2日間にわたり開催。世田谷区が主催となり、全国各地から集まった自治体によるブース出展やステージイベントなど様々な催しを実施。	295,000名 (2日間計・主催者発表)
9月	愛馬の日	9月23日に実施。馬に親しむ1日として、全国各地の伝統馬事芸能の披露や馬とのふれあい、体験乗馬などのイベントを実施。	24,842名

JRA馬事公苑



せたがやふるさと区民まつり



愛馬の日



馬とのふれあいイベント

